

品質性能試験報告書

一般財団法人 建材試験センター
 中央試験所長 ****
 埼玉県草加市稲荷5丁目21番20号

試験名称	***の性能試験	
依頼者	名称：**** 所在地：****	
試験項目	熱貫流率，熱貫流抵抗	
試験体	名称	****
	商品名	****
	枠の材質	****
	ガラスの種類	複層ガラス（室外側より FL * mm + A * mm + Lowe * mm）
	内のり寸法	W *** mm × H *** mm
	伝熱開口寸法	W *** mm × H *** mm
	[備考] 名称，商品名，材質，ガラスの種類及び寸法は，依頼者提出資料による。試験体を図1及び写真1，写真2に示す。	
試験規格	JIS A 4710（建具の断熱性試験方法）	
試験条件	熱流方向：水平 設定温度：加熱箱内空気 $\theta_{ci} = 20 \text{ }^\circ\text{C}$ 低温室内空気 $\theta_{ce} = 0 \text{ }^\circ\text{C}$ 気流：合計表面熱伝達抵抗 $R_{s,t} = 0.165 \text{ m}^2 \cdot \text{K/W}$	
試験方法	[試験装置]	
	・熱箱内のり寸法 W 2000 mm × H 2000 mm	

試験所長の文書による承認なしでは，完全な複製を除き，一部分のみを複製してはならない。

試験結果	伝熱面積	A_{sp}	(m^2)	***	
	発生熱量	Φ_{in}	(W)	***	
	校正熱量	$\Phi_1 + \Phi_{sur} + \Phi_{edge}$	(W)	***	
	試験体を通過する熱流密度	$q_{sp} = \frac{\Phi_{in} - (\Phi_1 + \Phi_{sur} + \Phi_{edge})}{A_{sp}}$	(W/m^2)	***	
	高温室空気温度	θ_{cg}	($^{\circ}C$)	***	
	熱箱内空気温度	θ_{ci}	($^{\circ}C$)	***	
	低温室空気温度	θ_{ce}	($^{\circ}C$)	***	
	空気温度差	$\Delta\theta_c = \theta_{ci} - \theta_{ce}$	($^{\circ}C$)	***	
	平均空気温度	$\bar{\theta}_c = \frac{\theta_{ci} + \theta_{ce}}{2}$	($^{\circ}C$)	***	
	高温側環境温度	θ_{ni}	($^{\circ}C$)	***	
	低温側環境温度	θ_{ne}	($^{\circ}C$)	***	
	環境温度差	$\Delta\theta_n = \theta_{ni} - \theta_{ne}$	(K)	***	
	平均環境温度	$\bar{\theta}_n = \frac{\theta_{ni} + \theta_{ne}}{2}$	($^{\circ}C$)	***	
	測定熱貫流率	$U_m = \frac{q_{sp}}{\Delta\theta_n}$	[$W/(m^2 \cdot K)$]	***	
	測定熱貫流抵抗	$R_m = \frac{1}{U_m}$	($m^2 \cdot K/W$)	***	
	標準化熱貫流率 ^{a)}	$U_{st} = [U_m^{-1} - R_{s,t} + R_{(s,t),st}]^{-1}$	[$W/(m^2 \cdot K)$]	***	
	標準化熱貫流抵抗 ^{b)}	$R_{st} = \frac{1}{U_{st}}$	($m^2 \cdot K/W$)	***	
		[備考] 試験体各部の温度測定結果を表1に示す。			
		注 ^{a)} 測定時の合計表面熱伝達抵抗 $R_{s,t}$ は $0.165 m^2 \cdot K/W$ ，標準の合計表面熱伝達抵抗 $R_{(s,t),st}$ は $0.17 m^2 \cdot K/W$ である。 注 ^{b)} 標準化熱貫流抵抗は，標準化熱貫流率の逆数である。			
	試験期間	***年**月**日 ~ **日			
担当者	環境グループ 統括リーダー ***** ***** (主担当)				
試験場所	中央試験所 (埼玉県草加市稲荷5丁目21番20号)				

試験所長の文書による承認なしでは，完全な複製を除き，一部分のみを複製してはならない。

～～依頼者提出資料が入ります。～～

表 1 試験体各部の温度測定結果

測定位置	温度 (°C)	
	室外側	室内側
1	**	**
2	**	**
3	**	**
4	**	**
5	**	**
6	**	**

[備考] 温度測定位置は図 1 に示す。

以上